

今年度最初の研修会&交流会を開催しました！

「妊娠中のからだの変化を知って妊娠しても安心して働ける職場について考えよう！」

ライフサポート部 鴨志田 理子

ライフサポート部
活動報告
職場環境を考える

第81報

7月30日（日）、「妊娠中のからだの変化を知って妊娠しても安心して働ける職場について考えよう！」をテーマに、よしかた産婦人科理学療法士の山崎愛美先生を講師にお招きして、研修会&交流会を開催しました。前半は山崎先生の講義で「妊娠における基礎知識」「妊娠中の身体の変化」「妊娠中のリスク管理」「妊娠中の疼痛」など、様々な面から妊娠についての知識を深めました。後半は6グループに分かれて、実際の職場での対応について話し合う時間としました。

参加者は、県外も含め30名の方が参加し、男女比が5：5、年齢は20～60代で、30～40代が80%近く、子育て現役世代が多数となりました。参加動機は「職場での対応を知りたい」が84.2%、「ウィメンズヘルスに関する知識を学びたい」が78.9%で多く、自分の大変だった経験を具体的に若い世代にどう配慮していけるのか悩んでおられる方や、具体的な取り組みを始めておられる方からの話が聞ける機会となりました。参加にあたって、ベテラン男性PTさんから、「男性からは話題にしにくい内容で、参加しても大丈夫なのか」とのお問合せをいただくこともあり、これまで関心をもっていなかったのかと思いでいた世代からの参加も増えてうれしい限りでした。運営上、うまく行かなかった部分もありましたが、今後もこの事業は続けていくことが大事だと感じています。

■研修会の満足度（アンケート結果より：回答者数19）

Q. 研修会の内容はいかがでしたか？

A.

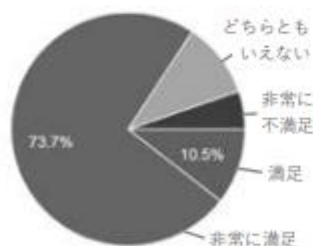


○理由

妊娠中の身体の変化についてわかった/妊娠の知識とディスカッションを通して、これから自身が妊娠した時の不安が少し和らいだ/グループディスカッションが他の研修ではあまりなく参考になった/知識も増えて、他施設の取り組みも聞けた/職場で妊娠中のセラピストが安全に安心して働くための環境整備やシステムの整理について学べた

Q. グループディスカッションはいかがでしたか？

A.



○理由

漠然としていた悩みを共有でき、安心できた/少ない人数で良く話し合えた/自身と立場が違う方々が多くて、さまざまな視点で意見交換ができた/妊娠中のセラピストが働きやすい環境づくりのために、管理職個人としてはできること、あるいは組織としてできることなどの意見が多く出た/職場の制度がないメンバーが多く、実際の配慮面について話を深く聞けなかった

■グループディスカッション

これまでの体験、相談・報告のタイミング、配慮点、育休復帰後の対応など多岐に渡って話が出ました。一部ですが共有したいと思います。

①妊娠の報告のタイミングは？

（妊婦の立場から）「安定期に入ってから」「言い出しにくい」「わからず悩んだ」

流産した、つわりがつかった→「できるだけ早く」「母子手帳をもらったら」

（管理者の立場から）できるだけ早く報告を。公表のタイミングは本人とよく相談する。

業務調整に携わるキーパーソンには早急に共有する。

上司とのやりとりがしにくい場合は、話しやすいスタッフを介して相談をしてほしい。

②実際にどのような配慮をしていますか？

- 普段からチーム制とし、毎朝のミーティングで各自の状況を確認し、業務の割り振りを決める。リーダーが率先して実践し、チーム内で情報共有することで、チーム内でカバーできている。
- 妊娠サポートチーム（PT・OT各1名）があり、妊娠中・育休中・復帰後の定期的な情報共有やサポートをしている。
- 報告があったら「おめでとう！」と伝え相談してもらえる雰囲気を作っている。介助量が多い患者を担当していた場合は、いきなり患者変更ではなく周囲の援助で継続するようにし、それでも難しい状況になれば変更をしている。また、単位ノルマを減らし、時間に余裕をもたせ、休憩を取りやすいように配慮する。月1回は面談をするようにし、本人の体調や仕事への意欲なども考慮し、必要に応じて担当の交代、配置変換などを実施する。育休からの復帰前には経験者も交えて座談会を開いて不安を減らせるようにしている。
- その他の業務に関する配慮例
空き時間を予定に組み込む/いつでも交代できるスタッフ（フリースタッフ）を用意する/（訪問リハ）体調不良時は主任が連絡を受けて予定の組み直しをする/自分で訪問先に連絡して調整する（調整は自分の裁量で自由ができる）/臨床の負担を減らして新人教育係を担う/休憩場所の確保する



妊娠中の体調やその人の価値観は個々で違います。妊婦さんも周囲のスタッフも患者もどのようにするのがよいのか、十分コミュニケーションをとって対応し続けることが重要です。そのためにも、基本的な知識とこれまでの経験や対応を知ることが必要と毎回感じます。ここで掲載できなかったご意見やアンケート結果の内容を参考にさせていただき、



よりよい研修会&交流会を継続していきたいと考えています。ライフサポート部のHPでは「妊娠しても安心できる職場宣言！」のポスターや支援制度などのリンクを掲載しておりますので、ご参照ください。

X (Twitter) でもHPの内容を発信しています→

←ホームページ

